

## 6 調査報告書

共通評価基準(45項目)

### I 支援の基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

項目番号	項目	第三者評価結果
I-1-(1)	理念、基本方針が確立・周知されている。	
I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c

#### I-2 経営状況の把握

項目番号	項目	第三者評価結果
I-2-(1)	経営環境の変化等に適切に対応している。	
I-2-(1)-①	施設環境をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・Ⓑ・c
I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	Ⓐ・b・c

#### I-3 事業計画の策定

項目番号	項目	第三者評価結果
I-3-(1)	中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・Ⓑ・c
I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・Ⓑ・c
I-3-(2)	事業計画が適切に策定されている。	
I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	Ⓐ・b・c
I-3-(2)-②	事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a・Ⓑ・c

#### I-4 支援の質の向上への組織的・計画的な取組

項目番号	項目	第三者評価結果
I-4-(1)	質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-①	支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ・b・c
I-4-(1)-②	評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	Ⓐ・b・c

## II 施設の運営管理

### II-1 施設長の責任とリーダーシップ

項目番号	項目	第三者評価結果
II-1-(1)	施設長の責任が明確にされている。	
II-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
II-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
II-1-(2)	施設長のリーダーシップが発揮されている。	
II-1-(2)-①	支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
II-1-(2)-②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c

### II-2 福祉人材の確保・育成

項目番号	項目	第三者評価結果
II-2-(1)	福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	
II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	Ⓐ・b・c
II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	Ⓐ・b・c
II-2-(2)	職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	Ⓐ・b・c
II-2-(3)	職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
II-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	Ⓐ・b・c
II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	Ⓐ・b・c
II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	Ⓐ・b・c
II-2-(4)	実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
II-2-(4)-①	実習生等の支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・Ⓑ・c

### II-3 運営の透明性の確保

項目番号	項目	第三者評価結果
II-3-(1)	運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	Ⓐ・b・c
II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	Ⓐ・b・c

### II-4 地域との交流、地域貢献

項目番号	項目	第三者評価結果
II-4-(1)	地域との関係が適切に確保されている。	
II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・Ⓑ・c
II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・Ⓑ・c
II-4-(2)	関係機関との連携が確保されている。	
II-4-(2)-①	施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ・b・c
II-4-(3)	地域の福祉向上のための取組を行っている。	
II-4-(3)-①	施設が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・b・c
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・Ⓑ・c

### III 適切な支援の実施

#### III-1 子ども本位の支援

項目番号	項目	第三者評価結果
III-1-(1)	子どもを尊重する姿勢が明示されている。	
III-1-(1)-①	子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
III-1-(1)-②	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した支援の実施が行われている。	a・Ⓑ・c
III-1-(2)	支援の実施に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	
III-1-(2)-①	子どもや保護者等に対して支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a・Ⓑ・c

Ⅲ-1-(2)-②	支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a ・ (b) ・ c
Ⅲ-1-(2)-③	措置変更や地域・家庭への移行等にあたり支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a ・ (b) ・ c
Ⅲ-1-(3)	子どもの満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(3)-①	子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a ・ (b) ・ c
Ⅲ-1-(4)	子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a ・ (b) ・ c
Ⅲ-1-(4)-②	子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a ・ (b) ・ c
Ⅲ-1-(4)-③	子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a ・ (b) ・ c
Ⅲ-1-(5)	安心・安全な支援の実施のための組織的な取組が行われている。	
Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a ・ (b) ・ c
Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	(a) ・ b ・ c
Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	(a) ・ b ・ c

### Ⅲ-2 支援の質の確保

項目番号	項目	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1)	支援の標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-①	支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されている。	(a) ・ b ・ c
Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	(a) ・ b ・ c
Ⅲ-2-(2)	適切なアセスメントにより自立支援実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	(a) ・ b ・ c
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a ・ (b) ・ c
Ⅲ-2-(3)	支援の実施の記録が適切に行われている。	

Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a ・ (b) ・ c
Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	(a) ・ b ・ c

内容評価基準(41項目)

A-1 子ども本位の支援

項目番号	項目	第三者評価結果
A-1-(1)	子どもの尊重と最善の利益の考慮	
A-1-(1)-①	社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の支援において実践している。	a ・ (b) ・ c
A-1-(1)-②	子どもの発達段階に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	(a) ・ b ・ c
A-1-(1)-③	特別支援日課など子どもの行動などの制限については、子どもの安全の確保等のために、他取るべき方法がない場合であって子どもの最善の利益になる場合のみ、適切に実施している。	a ・ (b) ・ c
A-1-(2)	権利についての説明	
A-1-(2)-①	子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a ・ (b) ・ c
A-1-(3)	他者の尊重	
A-1-(3)-①	様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	a ・ (b) ・ c
A-1-(4)	被措置児童等虐待対応	
A-1-(4)-①	いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	(a) ・ c
A-1-(4)-②	子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	(a) ・ b ・ c
A-1-(4)-③	被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	(a) ・ b ・ c
A-1-(5)	思想や信教の自由の保障	
A-1-(5)-①	子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障している。	(a) ・ b ・ c

A-1-(6)	子どもの意向や主体性への配慮	
A-1-(6)-①	施設が行う支援について事前に説明し、子どもが主体的に選択(自己決定)できるよう支援している。	Ⓐ・b・c
A-1-(6)-②	子ども自身が自分たちの生活全般について自主的に考える活動を推進し、施設における生活改善や自立する力の伸長に向けて積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・b・c
A-1-(7)	主体性、自律性を尊重した日常生活	
A-1-(7)-①	日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの課題として主体的に考えるよう支援している。	a・Ⓐ・c
A-1-(7)-②	子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念や生活技術が身につくよう支援している。	Ⓐ・b・c
A-1-(8)	継続性とアフターケア	
A-1-(8)-①	家庭引取りにあたって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	a・Ⓐ・c
A-1-(8)-②	子どもが安定した社会生活や家庭生活を送ることができるよう通信、訪問、通所などにより、退所後の支援を行っている。	Ⓐ・b・c

#### A-2 支援の質の確保

項目番号	項目	第三者評価結果
A-2-(1)	支援の基本	
A-2-(1)-①	子どもを理解・尊重し、その思い・ニーズをくみ取りながら、子どもの発達段階や課題に考慮した上で、子どもと職員との信頼関係の構築を目指している。	Ⓐ・b・c
A-2-(1)-②	子どものニーズをみとめることのできる日常的で良質な生活を営みつつ、職員がモデルとなることで、子どもの協調性を養い、社会的ルールを尊重する気持ちを育てている。	a・Ⓐ・c
A-2-(1)-③	集団生活の安定性を確保しながら、施設全体が愛情と理解のある雰囲気に入れられ、子どもが愛され大切にされていると感じられるような家庭的・福祉的アプローチを行っている。	a・Ⓐ・c
A-2-(1)-④	発達段階に応じて食事、睡眠、排泄、服装、掃除等の基本的な生活習慣や生活技術が習得できるよう支援している。	Ⓐ・b・c
A-2-(1)-⑤	多くの生活体験を積み重ね、子どもがその問題や事態の自主的な解決等を通して、子どもの健全な自己の成長や問題解決能力を形成できるように支援している。	a・Ⓐ・c
A-2-(1)-⑥	子どもの行動上の問題を改善するために、自ら行った加害行為などと向き合う取組を通して自身の加害性・被害性の改善や被害者への責任を果たす人間性を形成できるように支援している。	a・Ⓐ・c
A-2-(2)	食生活	
A-2-(2)-①	団らんの場として和やかな雰囲気の中で、食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、子どもの嗜好や栄養管理にも十分な配慮を行っている。	Ⓐ・b・c
A-2-(2)-②	子どもの生活時間にあわせた食事時間の設定を含め、子どもの発達段階に応じた食習慣の習得など食育を適切に行っている。	Ⓐ・b・c

A-2-(3)	衣生活	
A-2-(3)-①	衣類は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供し、衣習慣を習得できるよう支援している。	Ⓐ・b・c
A-2-(4)	住生活	
A-2-(4)-①	居室等施設全体が、子どもの居場所となるように、安全性、快適さ、あたたかさなどに配慮したものにしている。	Ⓐ・b・c
A-2-(5)	健康と安全	
A-2-(5)-①	発達段階に応じ、身体の健康(清潔、病気等)や安全について自己管理ができるよう支援している。	Ⓐ・b・c
A-2-(5)-②	医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	Ⓐ・b・c
A-2-(6)	性に関する教育	
A-2-(6)-①	子どもの年齢、発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a・Ⓑ・c
A-2-(7)	行動上の問題に対する対応	
A-2-(7)-①	子どもに暴力、不適応行動、無断外出などの行動上の問題があった場合には、関係のある子どもも含めて適切に対応している。	a・Ⓑ・c
A-2-(7)-②	施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体に徹底している。	a・Ⓑ・c
A-2-(7)-③	虐待を受けた子ども等、保護者等からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	Ⓐ・b・c
A-2-(8)	心理的ケア	
A-2-(8)-①	被虐待児など心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	Ⓐ・b・c
A-2-(9)	学習支援、進路支援、作業支援等	
A-2-(9)-①	学習環境の整備を行い、個々の学力等に応じた学習支援を行っている。	Ⓐ・b・c
A-2-(9)-②	「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	Ⓐ・b・c
A-2-(9)-③	作業支援、職場学習や職場体験等の機会を通して、豊かな人間性や職業観の育成に取り組んでいる。	a・Ⓑ・c
A-2-(9)-④	施設と学校との親密な連携のもとに子どもに対して学校教育を保障している。	a・Ⓑ・c

A-2-(9)-⑤	スポーツ活動や文化活動を通して心身の育成を図るとともに、忍耐力、責任感、協調性、達成感などを養うように支援している。	a ・ (b) ・ c
A-2-(10)	通所による支援	/
A-2-(10)-①	地域の子どもの通所による支援を行っている。	
A-2-(11)	施設と家族との信頼関係づくり	
A-2-(11)-①	施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a ・ (b) ・ c
A-2-(12)	親子関係の再構築支援	
A-2-(12)-①	親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a ・ (b) ・ c
A-2-(13)	スーパービジョン体制	
A-2-(13)-①	スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性の向上や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	a ・ (b) ・ c



◇該当する項目を記入し、具体的な取り組みについて記述する。

【該当項目】

【特記項目】